

01 現状を示す資料(省略)

- 練習・発表・交流の場… 文化芸術施設の現状
- ソフト事業のいま 鶴岡市の芸術文化事業
- 大切に受け継がれてきたもの 歴史・文化資源
- 実施中の事業を文化芸術の軸で整理 関連事業の整理

02 活動する人・参加する人の声をまとめる

- 活動する人から生の声を聴く グループトーク 2
「つるおか文化部ミーティング」
- 参加者の気持ちを聴きたい 文化芸術活動についてのアンケート 3
- つるおか文化部ミーティング 全体のまとめ 4
- グループとごとのまとめ (省略)
- アンケートまとめ (省略)

03 文化芸術活動活性化のための提案

- 駐車場の活用 6
- 和風の文化施設 7

02 活動する人・参加する人の声をまとめる

●活動する人から生の声を聴く

グループトーク「つるおか文化部ミーティング ○○編」

鶴岡市計画の策定に向けて、関係の深い団体の皆さんに集まっていただき、自由に話し合う「つるおか文化部ミーティング○○編」を実施しました。活動を続けていく時の課題や、これからどのような活動をしていきたいか、地域性や団体ごとの特徴も踏まえた意見がたくさん出ています。



◆グループトーク「つるおか文化部ミーティング○○編」

実施団体	日時	会場	参加者数
つるおか文化部ミーティング(一般向け)	7/31 夕方	鶴岡アート F.	13
羽黒町芸術文化協会	9/16(火)午後	羽黒庁舎	12
榎引芸術文化協会	10/17(木)午後	榎引生涯学習 C	8
中央公民館サークル運営委員会	11/1(金)夜	中央公民館	7
朝日芸術文化協会	12/4(水)夜	朝日すまいる	6
鶴岡市芸術文化協会	12/6(金)午後	鶴岡アート F.	24
高校生文化部 (1回目)	12/6(金)午後	鶴岡アート F.	4
藤島芸術文化協会	12/17(火)午後	藤島地域活動 C	19
高校生文化部 (2回目)	12/20(金)午後	鶴岡アート F	19
東北公益文科大学大学院	1/6(月)夜	公文大大学院	7
音楽関係者	1/16 (木) 夜	鶴岡アート F	15
温海芸術文化協会	1/19(日)午前	温海庁舎	20
		(延べ人数)	154

●参加者の気持ちを聴きたい

文化芸術活動についてのアンケート

市内の文化施設、各庁舎で開催される公演や展示への参加者に文化・芸術活動についてのアンケートを実施しました。

アンケートは「つるおか文化部ミーティング」の参加者にも会場で記入をお願いしたほか、地域性や対象となる年代や団体、公演や展示の特性をみながら実施しています。

◆アンケート実施状況

	会場	内容	実施日	回収数
羽黒町芸術文化協会	羽黒庁舎	グループトーク	9/17	1 2
あつみ作品展	温海ふれセン	展示	9/20-9/23	1 9
中央公民館文化祭	中公	展示・公演	9/27-9/29	8 4
立川談春 独演会	タクト	公演（落語）	9/28	2 7 3
小学校音楽交流会（小五保護者）	タクト	公演	10/9-10/11	6 2 1
障害者アート展「ひょうげんの花」	アート F.	展示	10/3-10/14	4 7
櫛引芸術文化協会	櫛引庁舎	グループトーク	10/16	8
劇団四季公演「エビータ」	タクト	公演	10/26	2 3 8
ふじしま文化祭	藤島地区	展示・公演	10/25-10/27	3 7
中央公民館サークル運営協議会	中公	グループトーク	11/1	7
はぐろ秋まつり	羽黒地区	展示・公演	11/2-11/4	5 1
あさひ産業文化まつり	朝日地区	展示・公演	11/3	3 5
あつみ文化祭	温海地区	展示・公演	11/3	4 7
県美展	アート F.	展示	11/13-11/18	1 0 7
山大農学部「地域を知る講座」	山形大学	-----	11/21	4 3
朝日芸術文化協会	朝日地域	グループトーク	12/4	6
芸術文化協会 芸術委員会	アート F.	グループトーク	12/6	2 4
高校文化部（高校生）	-----	-----	12 月中	1 8 6
高校文化部 顧問の先生	-----	-----	12 月中	1 6
きかんしゃトーマスコンサート	タクト	公演	12/8	1 1 0
民俗芸能交流発表会	中公	公演	12/8	1 2 4
藤島芸術文化協会	藤地域活動 C	グループトーク	12/17	1 9
公益文科大学大学院	大学院	グループトーク	1/6	7
音楽関係者	アート F.	グループトーク	1/16	1 5
櫛引芸文「新春のつどい」	櫛引生涯学習 C	展示・公演	1/18	4 5
温海芸術文化協会	温海ふれセン	グループトーク	1/19	2 0
図書館登録団体	図書館	-----	随時実施	3 8
文化施設学芸担当者	各施設	-----	随時実施	1 1

3月30日現在集計

2,250

◆グループトーク・アンケート 全体のまとめ

既存団体の活動が停滞している

- 既存団体は高齢化し、若い人や新しい人を取り込むことも難しく活動が目に見えて先細りになっている。
- 若い人にとって既存団体の活動は敷居が高く、出入り自由で気軽に活動できることを求めている。
 - ・若い人は友達同士のつながりを基にした気軽に活動できる場所を求めている
 - ・年代で活動内容が合わないことや上達に時間のかかる技能は若い人を取り込めない

子どもたちと担い手を育てたい

- 出向いて教え、一流のものに触れさせ、切れ目なく活動を支援したい。
 - ・子供たちの情緒の形成や続けたいことに出会えるよう家でも学校でも気軽に一流の文化や芸術を体験させたい。
 - ・学校だけでなく色々な場所に技能をもつ大人が出向いた子供たちに教える仕組みを考えたい
 - ・子供から大人まで切れ目なく活動を支え、身に着けた技能を活用できるようにしたい。
 - ・年代や所属を超えて実施するイベントは好評なので、活動は別々でもこれからも楽しく交流したい。

地域独自の文化資源の伝承と活用

- 文化財や地域資源は担い手の伝承していく心構えを大事にしながら、時代や人にあわせて活用し発信できるといい。
 - ・様々な課題を乗り越え長く続けてきた行事は伝承していく人たちの心構えに頭が下がるし、これからも続けて成し遂げていくことが大事だ。
 - ・文化財や地域資源の担い手にとって外部の人の認知や支援は励みになるので、城下町という特色に配慮しバランスをとりながら、情報発信や交流をしていきたい。
 - ・地域の豊かな文化を入りやすい切り口で時代に合わせて活用し伝え発信したい。

分野を超えた連携

- 既存の施設や活動を超えて活躍する動きもあり、まちづくりや産業との連携につなげたい。
 - ・人が集まる場所や逆に使われなくなった場所で現代美術やテーマを絞ったイベントをすると人が来ると思う。
 - ・写真やイラストは制作するだけでなく、活用して他の人と交流したり収益を上げて活動資金に回したりしたい。

文化施設の拠点化

- 文化施設は専門職員を育て、一流のアーティストを招き、地元の人が繰り返し利用する市民の文化芸術活動を支える拠点にしたい
- ・学校や地域を巻き込んで一流アーティストを招いて地元のレベルアップを図るなど、文化施設は人が集まるイベントをして公演者にもまた来たいと思ってほしい。
- ・建物と事業のマッチングや他施設とのすみ分けも考えながら、地元のあらゆる人が繰り返し利用できる愛着が持てる施設になると、地元からも企画が出てくる。

施設の使い勝手

- 全市的に横のつながりをよくして、活動内容に合った施設の活用を考えたい。
- ・活動場所、練習場所の確保は内容によって異なるが使いやすい場所を求めている
- ・コミセン等の利用条件を改善しないとサークル活動は高齢化していく
- ・発表用のホールやギャラリーの使い勝手をよくしてほしい
- ・和風の文化施設の整備を望む声があるが、今ある施設の活用も考えていきたい。

移動手段の確保

- 学生や高齢者、障害者向けに一時的でも移動手段を確保することで、参加や交流の機会が広がる
- ・バスツアーなどで一時的に移動手段を確保することで、地域間の交流や交通弱者の方の参加の機会につながる。
- ・学生も地域も学生たちの今以上の活動の機会を求めているが、移動手段など学校としての対応は難しそうだ
- ・交通弱者向けに利用しやすい交通手段があるといい
- ・駐車場が不足している。

あらゆる人に向けた二つの情報発信

- 参加や活動を促すため、あらゆる人に向け多様で効果的な情報提供が必要だ。
- 鶴岡独自の文化資源や市民の活動の成果を広く発信していくことが、鶴岡の文化のすごさをPRし、がんばっている人を応援することになる。

鶴岡の文化芸術活動に必要なこと

- 自由な表現を追求できる
- 市だけでなく、当事者・関係者と課題を共有し芸術文化を発信していく
- 失敗しても再挑戦できる環境

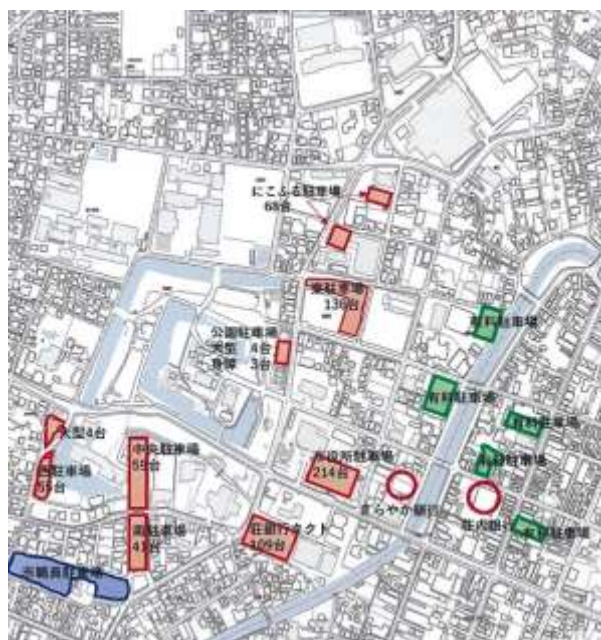
駐車場の活用

令和元年度、荘銀タクト鶴岡での公演やイベントの参加者に行ったアンケートでは、市街地中心部の駐車場が不足しているといった意見が多くありました。多くの人が訪れる舞台公演の開催時には、タクトや市役所の駐車場が満車になり、秋の芸術祭のシーズンには、アートフォーラムなどの催しも重なることから、駐車場不足を実感する方が多く見受けられたのだと考えられます。

下記の図は、市役所周辺の公共駐車場（無料で休日と夜間は自由に利用可能）の配置と収容台数、及び民間の有料駐車場等の配置を示したものです。

【 中心市街地公設駐車場 概要 】

荘銀タクト鶴岡駐車場	153 台
市役所駐車場	195 台
鶴岡公園中央駐車場	59 台
鶴岡公園南駐車場	41 台
鶴岡公園西駐車場	55 台
東駐車場（にこふる前）	136 台
にこふる駐車場	68 台
公共駐車場収容台数合計	707 台



中心市街地には、休日と夜間は自由に利用できる公共駐車場の収容台数は約 700 台で、タクトの座席数は 1,120 席です。仮に 1 台に複数の人が乗車してタクトに来る場合には、駐車場は充足する計算になりますし、ほかに民間の有料駐車場を利用することもできます。

しかしながら、市内では自家用車が主な移動手段の中で、ドア To ドア感覚を標準として持っており、公共駐車場等が分散していることから、イベント・舞台公演等の際、目的施設の直近の駐車場だけが満車となっていることで、駐車場不足の声が挙がることも考えられます。

タクトでの大規模な舞台公演等の際には、近隣施設の催しを把握し日程・時間の調整をするなどの連携を図り、近隣の方へ徒歩や自転車の利用、自家用車の乗り合いの呼びかけ、主催者には誘導員による各駐車場への案内、大規模駐車場からのバス等によるピストン送迎などの対策を講じることで、駐車場不足を実感される方を減らすことができると思われま

●文化芸術に親しむ環境の整備（提案）

「和」の文化芸術の活動場所

茶道など「和」の文化芸術活動を行っている方たちから、専用施設の整備を希望する声が寄せられています。広い畳敷きの場所があり、練習場所や発表の場所としての利用することができ、中心市街地に整備し駐車場も併設できれば市街地の活性化につながるという意見もありました。

今回の計画策定ではアートフォーラムを展示系の活動の拠点として、荘銀タクト鶴岡を舞台系活動の拠点と位置付けていく予定ですが、「和」の文化芸術活動に特化した施設の整備を計画に盛り込むことは困難な状況です。

これまで、「和」の文化芸術活動団体の皆様からは芸術祭等では次のように市内の各施設を活用いただいております。今回の計画には、市内の施設を今まで以上に活用していく方針を盛り込むほか、歴史的な建物や民間の施設などの活用のご相談にも対応していく予定です。特に、中心市街地に点在する歴史的な建物や民間の施設などを活用していただくことで、駐車場も今あるものを活用することができ、まちの中に人の流れが生まれ、まちなかにぎわいをつくることのできるのではと考えています。

令和元年度 鶴岡市芸術祭参加団体（茶道・華道・邦楽邦舞等） 公演実績

期日	団体名	会場	入場者数
9/15	第 50 回錦心流琵琶鶴岡支部演奏会	中央公民館	330
9/22	第 55 回「さざ波会 民謡と舞踊のつどい」	中央公民館	350
10/6	表千家流茶会	致道館	281
10/6	遠州流茶会	アート F.	223
10/6	大正琴・文化箏愛好会 山琴箏会 第 31 回公演	中央公民館	250
10/13	裏千家 秋の茶会	出羽庄内国際村	250
10/19- 10/20	第 56 回各流派合同いけばな展	アートフォーラム	2,626
10/20	八沢会 唄と踊りのつどい	中央公民館	700
10/20	日本九重流朝暘清吟会 第 140 回大会	鶴岡第一ホテル	235
10/27	日本九重流鶴城清吟会 第 43 回大会	中央公民館	350
11/24	宝生流 観世流合同謡曲大会	第一学区コミセン	40
11/24	鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」	荘銀本店ホール	330